

2019年度 事業方針及び計画

1. 事業運営方針

(1) 2020東京オリンピックに大阪からオリンピックを輩出するOSAKA夢プログラム事業の目標達成に向け、海外遠征などに資源を集中的に投じるとともに、一般強化事業を推進し、長期的な視点に立ち競技力の強化を図っていく。

(2) 第87回大阪陸上競技選手権大会などを主催し競技基盤を確保する。セイコーゴールデングランプリ陸上2019大阪の主管や第9回大阪マラソン大会、日本グランプリ第6回木南道孝記念陸上競技大会を主催し、海外からの参加を増加させ国際化を着実に推進するとともに、陸上競技の普及を図る。

(3) 第39回大阪国際女子マラソン大会の主管、内外主要競技会への役員・選手派遣、各種陸上競技会に対する審判員派遣により、競技会運営基盤を確保する。

(4) 公益財団法人日本陸上競技連盟、近畿陸上競技協会、公益財団法人大阪体育協会等の関係機関と連携し陸上競技の普及を図るとともに、大阪高体連陸上競技専門部などの各協力団体と密接に連携し、競技役員の資質の向上、大会運営技能・審判技術向上を図るとともに将来の大阪を担う若手競技者の発掘、育成を図る。

2. 事業計画

(1) 選手強化育成事業等

長期的視点に立ち国際的に活躍できる競技者を育成するため競技力の向上を図る。関係機関・諸団体の協力のもと「OSAKA夢プログラム」事業を着実に推進し大阪市トップアスリート育成事業と連携しつつ東京オリンピックに向けた強化事業を推進する。セイコーゴールデングランプリ陸上2019大阪を主管し、日本グランプリシリーズ第6回木南道孝記念陸上競技大会の国際化を進め選手強化を図る。

陸上競技の普及並びに競技力の強化を図るため各種競技会、強化練習会等を実施し、第67回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会の主管をはじめ別紙の競技会等を実施する。

平成31年度 大阪陸上競技協会が関係する競技会(別紙)

平成31年度 競技会 日程・行事予定(別紙)

(2) 広報・情報化の推進

ホームページを刷新し、競技会情報などを通じた広報、情報化を進める。先進情報化技術を活用し、競技会の運営を高度化していく。

(3) 普及育成事業

世界的に活躍できる競技者を発掘、育成していくため、日本陸連及び各協力団体との連携を深め、競技者の育成・強化並びに指導者の育成に取り組む。

(4) 財政・組織強化

財務体質の強化を図り選手強化及び陸上競技の普及を持続的且つ強力に推進していく基盤づくりを進める。

3. 中期計画の策定と推進

大阪を我が国における陸上競技の中心としていくため、中期計画として大阪陸協

5か年計画策定し着実に推進する。